

メトアナ配合錠オンデマンドセミナー

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて視聴いただけるセミナーです。

メトホルミンから考える2型糖尿病治療 — 2型糖尿病患者アンケート結果をもとに —



京都府立医科大学大学院医学研究科
内分泌・代謝内科学 教授

福井 道明先生

| 略歴 |

1990年 京都府立医科大学卒業
1998年 京都府立医科大学大学院卒業
1998年 綾部市立病院 内科医長
2000年 大阪鉄道病院 内科医長
2004年 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌機能制御学 助手
2009年 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 講師、医局長
2014年 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 准教授
2015年 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 教授

オンデマンド
配信

配信
期間

2021年6月10日(木)12:00
～ 6月23日(水)23:59

配信
時間

20分(予定)

抄 録

メトホルミンは、有効性、安全性、経済性の面から、多くの国で2型糖尿病治療の第一選択薬として推奨されている。メトホルミンを安全に使用するためには、患者がシックデイや乳酸アシドーシスに関する正しい知識を持つことが重要であるが、メトホルミンの適正使用に関する患者の意識について調査された報告はほとんどない。そこで我々は、メトホルミンを服用している2型糖尿病患者1,000名を対象に、メトホルミンの適正使用に関連する事項と医療費への意識に関するアンケート調査を実施した^{*}。その結果、患者のシックデイや乳酸アシドーシスに関する知識が十分でないことや、約75%の患者が安価な薬剤への変更を希望していることがわかった。本講演では、この調査結果をもとに、メトホルミンの適正使用と医療費削減の観点から配合剤の活用について考えていきたい。

^{*}Hashimoto Y et al., J Clin Biochem Nutr, 2021 (in press)

本セミナーはオンデマンドセミナーとなるためQAセッションはございません。

主催 株式会社三和化学研究所